

## 平成31年度 全国学力・学習状況調査の結果(幡羅中学校)

## 平均正答率

(単位 %)

	国語	数学	英語
幡羅中	74.0	63.0	56.0
埼玉県(公立)	73	59	56
全国(公立)	72.8	59.8	56.0

## 質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	幡羅中	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	94.4	93.6	93.1
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	80.4	80.0	78.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	97.2	92.7	92.8
	学校の規則を守っている	99.5	97.4	96.2
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	61.5	55.3	50.4
	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている	89.3	80.9	74.9
	1・2年生のときに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	84.9	81.3	74.8
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	79.3	74.8	69.8
教科への関心	国語の勉強は好きだ	68.2	61.4	61.7
	国語の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	81.5	76.3	71.6
	数学の勉強は好きだ	65.3	58.3	57.9
	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	88.3	76.4	76.2
その他	自分には、よいところがあると思う	75.4	76.4	74.1
	将来の夢や目標をもっている	83.8	73.3	70.5
	人の役に立つ人間になりたいと思う	97.7	94.2	94.3
	今住んでいる地域の行事に参加している	64.3	48.5	50.6

## 公表例

### 幡羅中の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

#### 【国語】

- 自分の思いや考えを記述することが抵抗なく取り組めている。
- 封筒の書き方の理解がやや低い。

#### 【数学】

- 全ての問題において、無回答の割合が少なかった。
- 関数分野において、正しい知識・技能が定着し、思考・判断・表現力の向上も見られる。
- 上位75%付近にあたる層の伸びが少ない。
- 記述問題の無回答の割合が多い。

#### 【英語】

- 無回答が少ない。
- 話すことに関して、10%以上平均より数値を上回っている。
- 全体的に上回っているが、空所の語句補充が比較的弱い。
- まとまりのある文章の内容を把握する力が弱い。
- 全国的に見ると平均だが、他教科と比べると英語が好きな生徒が少ない。

#### 【質問紙】

- 将来に夢や目標を持ち、その夢や目標にむけて挑戦し続ける生徒の割合が高い。
- 各教科への関心や意欲が全国と比較しても高い。
- 生活習慣が整っている生徒の割合が高く、自分で計画を立てて勉強している。
- 地域の歴史への興味関心や、行事等へ参加意欲が高い。
- 外国の方と触れあったり等、積極的に英語を使おうとする生徒の割合が比較的低い。
- 新聞を読んでいる生徒の割合が比較的低い。

### 課題への取組・改善策

#### 【国語】

・実際にお世話になった方などに手紙を書くような授業の取組をしていくことによって、正確な書き方の知識を養わせる。

#### 【数学】

・普段の授業において、課題解決方法や説明などをノートやプリントに記入させるなどして、数学的根拠を使い、自分の言葉や式で記述できるような力を身につけさせる。  
・単元テストや補充授業を行い、中位層より下の生徒の底上げを図る。

#### 【英語】

・日本語を英訳する訓練を授業でする。(1年の復習)  
・帯活動として、毎時、初出の文章(100語程度)を読み、大まかな内容をとらえる訓練をしている。

#### 【その他】

・学校行事や学級活動、生徒会活動などの充実を通して、学級経営力を高め、さらに学力向上を図る。  
・非認知能力(粘り強さ、やりぬく力、自制心)を意図的に高める実践を行う。

## 公表例